

アレルギー検査

検査対象

区分	対象	
特定原材料	A	卵
	B	牛乳
	C	小麦
	D	そば
	E	落花生
	F	えび
	G	かに
	H	甲殻類(えび・かに)
	Z	くるみ
推奨品目	J	大豆
	K	りんご
	L	もも
	M	バナナ
	N	キウイフルーツ
	O	やまいも
	P	さけ
	Q	さば
	R	いか
	S	あわび
	T	牛肉
	U	豚肉
	V	鶏肉
	W	ごま
	X	カシューナッツ
	Y	アーモンド
	その他	ア
イ		ジャガイモ
ウ		トウモロコシ
エ		ヘーゼルナッツ
オ		マカダミアナッツ
カ		ピスタチオ
キ		しゃこ
ク		あきあみ

検査区分

区分	対象	備考(キット等)		
通知法	定量検査 (ELISA)	A~E	① FASTKIT(日本ハム) ② FASPEK(リカガ)	
		Z	① FASTKIT(日本ハム) ② FASPEK(リカガ)	
		H	④ FA テスト EIA-甲殻類Ⅱ (島津/旧ニッスイ)	
			⑤ 甲殻類キット「マルハ」 (マルハニチロ)	
	定性検査	A, B	⑥ ウェスタンブロット法	
		C~G	⑦ PCR 法	
		F	⑧ 制限酵素処理による確認	
		Z	⑨ PCR-核酸クロマト法	
	その他	仏ノクロマト法	A~E, Z	⑩ FASTKIT スリム(日本ハム) ⑪ ナトラップ(リカガ)
			H	⑬ FA テスト仏ノクロマト甲殻類Ⅱw(島津/旧ニッスイ)
J, W, Y		⑮ 仏ノクロマト(1キット)		
J~Y, ア~カ		⑯ PCR 法		
J, W, X, Y, I~カ		⑰ ELISA 法		
キ, ク		⑱ 追加試験 PCR 法		
A~E, H, Z, J, カW, X, Y, I~カ		⑲ 濃度特定 (ELISA 法の追加試験)		

## 【試験方法について】

### （スクリーニング検査 ELISA 法）

抗原抗体反応を利用して食品に含まれるタンパク質を検出します。特異性（どれだけ正確に区別できるか）と定量性（どれくらい含まれるか）のある検査法です。

食品の加工度合や使用原材料によって「偽陰性」・「偽陽性」となる場合がございます。

### （確認検査 PCR 法）

検出対象に特異的な DNA 領域を PCR で増幅して検出する方法です。極めて微量な DNA でも検出することが可能で、特異性も高い検査法です。

加工食品では DNA の低分子化、PCR 阻害物質の存在や DNA の抽出が困難（残存しない）となった場合は検査が不可能となる場合があります。

### （確認検査 ウェスタンブロット法）

食品に含まれるタンパク質を、電気泳動により分子量で分離し、ELISA 法と同様に抗原抗体反応を利用してタンパク質を検出します。分子量により区別するため、ELISA 法よりも特異性が高く偽陽性が現れにくい検査法です。既知濃度の標準タンパク質を並行して使うので、標準タンパク質のバンドと比較して検査します。

### （スクリーニング検査 イムノクロマト法）

抗原抗体反応を利用して、滴下したサンプル中に目的の抗原があると試験紙上に線が現れ、目視で結果を判定できる検査法です。

短時間で測定が可能であり特別な機器が不要で測定が簡単などのメリットはありますが、通知法に記載されていない試験法です。